

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年02月02日

計画の名称	山陽地区高潮対策の推進【第 期】(防災・安全)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	下関市												
計画の目標	下関市の山陽地区において海岸保全施設の整備を促進し、台風等による高潮に対する被害の軽減を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	1,294	A	1,280	B	0	C	14	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	1.08	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	王司地区における浸水被害の恐れのある区域の面積を、239ha(R2)から150ha(R6)に減少させる。 王司地区における浸水被害の恐れのある区域の面積	239ha	239ha	150ha

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	○	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
下関市連携中枢都市圏構想に基づき実施される要素事業：A09-001														

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
海岸事業	A09-001	海岸	一般	下関市	直接	下関市	高潮	港湾	下関港海岸高潮対策事業	堤防(改良) L=1,700m	下関市						1,280		策定済	
											小計						1,280			
											合計						1,280			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
海岸事業	C09-001	海岸	一般	下関市	直接	下関市	高潮	港湾	高潮ハザードマップ作成	高潮ハザードマップの作成、 印刷	下関市						14	-	
		全基幹事業と一体的に整備することにより、防災機能の向上を図る。																	
											小計						14		
											合計						14		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02	R03	R04		
配分額 (a)	105	105	112		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	105	105	112		
前年度からの繰越額 (d)	45	88	60		
支払済額 (e)	62	133	127		
翌年度繰越額 (f)	88	60	45		
うち未契約繰越額(g)	60	60	45		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	40	31.08	26.16		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	補正予算による事業の実施にあたり、地元関係者との調整に時間を要したため	補正予算による事業の実施にあたり、地元関係者との調整に時間を要したため	補正予算による事業の実施にあたり、地元関係者との調整に時間を要したため		

# 事前評価チェックシート

計画の名称： 山陽地区高潮対策の推進【第 期】（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 基本方針（下関市総合計画）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画（山口県南沿岸海岸保全基本計画）と整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 計画の実現性	
III. 計画の実現可能性 地元の熱意	
III. 計画の実現可能性 1) 住民が協力的である。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

